

24/9/10 名古屋市議会総務環境委員会（市長特別秘書分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長丹羽ひろし（自民・名東区）：次に、総務関係の所管事務調査を行います。

本日の案件は、市長特別秘書についてであります。

この場合ご報告いたします。

始めに、本件に係る市長出席要請についてであります。

本件については7月3日の委員会において市長に対し出席要請を行いましたが、市長より出席を差し控えたい旨の意向が示されご出席をいただけなかったままになっております。

この点を鑑み、あらかじめ各会派代表で協議いたしました結果、提出資料について当局に対する質疑を行った後、改めて市長の出席を求め、市長に対する質疑を行ってまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

次に本日の提出資料についてであります。

本件については7月3日の委員会において、成田委員から経済水道委員会で提出された資料を例に、市長、特別秘書、市長室の三者の詳細なやり取りを記した資料の要求がありました。

これを受けて、本日の委員会に向け鋭意、当局と資料の調整を続けて参りましたが、要求趣旨通りの資料の提出には至りませんでした。

正副委員長で慎重に協議し遺憾ながら、お手元の資料を提出していただくことになりました。委員の皆様には大変申し訳なく思っております。

それではこの点の経緯も含め、当局に対し本日の提出資料の説明を求めたいと存じますので、よろしく願いいたします。

高田市長室長：失礼いたします。

本日お願いいたします案件は、市長特別秘書についてでございます。

市長特別秘書につきましては去る7月3日に開催されました当委員会に引き続きまして、これまでの経過等について、改めてご報告をさせていただきたいと存じます。

なお資料の説明に先立ちまして、私から資料提出にあたっての経緯等につきましてご説明を申し上げたいと存じます。

7月3日に開催されました当委員会におきまして成田委員より、2月定例会で特別秘書条例に関する付帯決議が付されて以降、6月に特別秘書が再任されるまでの経過として、市長、特別秘書、市長室の間でこの間どのようなやり取りが行われたかについて資料のご用意がございました。

また、資料の形式につきましては、本年5月31日および6月18日に開催されました経済水道委員会における、名古屋城天守閣の木造復元市民向け説明会の総点検に関して、観光文化交流局から提出された資料を踏まえた上で作成するようご意見をいただいていたところでございます。

この点につきまして改めまして、委員会への提出資料の考え方について全庁に関することといたしまして、3副室長とも協議し共通認識として確認をして参りましたので、内容をご報告させていただきたいと考えております。

申し上げます。

委員会の場合は、市民の代表である議員の皆様にも、本市の政策事業、市政運営についてご議論いただく極めて重要な機会と認識しております。その委員会での議論を円滑に行うために資料を作成提出させていただいたものであり、その資料は内容の正確性はもちろん、関係する当事者の確認了解が得られたものであることが必要だと考えております。

さきの名古屋城天守閣の木造復元市民向け説明会に関する総点検は職務執行の公正さに対する市民の信頼を確保する目的で行ったものであり、その方法としては、関係職員の証言による被害がなかったことから、ヒアリング結果を包み隠さず報告するという方針で対応したものです。

しかしながら、今回このような特別な事情があったとはいえ、議員と職員とのやり取りについて、当事者の一方である議員に確認を取らずに報告書に記載したという点で、正確性の担保が不十分であり、また記載内容としても、委員会資料として提出にするにあたり、適切な判断が行われなかった点があったと考えております。

副市長として改めましてお詫びするとともに、市として今後このようなことがないように、全庁に徹底してまいります。以上でございます。

この認識に基づきまして今回ご要求のあった資料につきましては、市長、特別秘書、特別秘書条例の所管である市長室において検討してきた経過につきまして、本日このような形で取りまとめさせていただいております。

何卒ご理解を賜りたいと存じます。よろしく申し上げます。

それでは詳細につきまして、次長よりご説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

服部将也（民主・北区）：今、市長室長からですね、経済制度委員会で提出をされた資料に問題があったという発言がありました。

そういう中でこの全庁的な委員会提出資料の考え方について改めて3副市長で確認をしたということではありますが、ことの発端となったこの経済水道委員会に対して、このことについてご説明はなされたんでしょうか、ちょっと事実確認で伺いたいと思います。

高田室長：7月3日に資料要求をいただきました後、我々といたしましてもまずは市長室内で資料のあり方について検討をいたしました。そうした中でですね、資料の内容につきまして委員とも調整をさせていただいたところでございますが、なかなかそのご要求にお応えできるレベルに達していないというご指摘もございまして、いろいろその相談をする中でですね、市長室といたしましても3副市長にご相談をしたと。

その中であっては観光文化交流局もですね、同席をさせていただいた上で、今回の3副室長の共通認識ということで取りまとめを行ったものでございます。

服部将也（民主・北区）：そういうことを聞いているんじゃないかと、経済水道委員会にその旨も報告はしたのかってこと聞いてんです。

私はそう承知はしておりませんが、

高田室長：申し訳ございませんでした。

今服部委員からご指摘ございましたように、経済水道委員会にはまだ、我々としては何のご報告もしているというところではございません、

服部将也（民主・北区）：先ほどの発言の中にもありましたけれども、その当事者である議員の確認も取らずに経済する委員会の資料としてしまった。そういう報告書を提出してしまったということは問題であるという趣旨のご発言があったと思いますけれども、また同じように経済水道委員会に対して、同じ過ちを繰り返しておるのではないのかという気が私はするんですね。

実は昨年、私も経済指導委員会に所属しておりましたけれども当時かなりね、様子の違う資料が提出されたことがあります。

要するに幹部職員の心境の変化をそのままですね、文字起こししたようなものが出されたことがありました。私は苦言を呈した覚えがありますけれども、そういったことも含めてね、今この委員会提出資料の調整についてですね、誠に心もとないと言わざるを得ないなと思います。いずれにしてもこの経済水道委員会に対して何の説明もないままにね、当委員会での発言を諒としてですね、審議を進めていくというのはいかがかと思しますので、ぜひこれは正副委員長におかれまして、ぜひしかるべき措置を講じていただきますようお願いをしておきます。

委員長：再度確認させていただきますが、あの3副市長の発言に対して経済水道委員会の方には全く知らされてないということではよろしいでしょうか。

室長：すいません、失礼いたします。

私の市長室といたしまして、経済水道委員会の委員の皆様方にこの件につきましてお話ををしているというところではございません。ただ先ほども話しましたように5月31日、6月18日におきまして経済水道委員会で資料をもとに行われた議論、そういうことを踏まえまして、我々議会から委員経済水道委員会での指摘等を踏まえて、副市長と話し合う場においては、観光文化交流局も参加をいただいて、今回こういう共通認識をまとめたところでございますが、今服部議員がご指摘の通り、申し訳ございません。経済水道委員会の皆様方には、我々としては何らご説明をしていないという状況でございます。

委員長：それでは確認させていただきました。正副委員長で取り扱いを協議させていただきますので、暫時休憩とさせていただきます。

委員長：だいまから総務環境委員会を再開いたします。

休憩前に、服部委員からご発言がありました件についてであります。正副委員長で協議いたしました結果、本日の所管事務調査調査につきましては、経済水道委員会において、委員会提出資料の考え方について報告がなされた後、改めて実施することとしその日程等につきましては、正副委員長にご一任いただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

横井利明（自民・南区）：経水に報告をするというのはもう当然のことですよ、あれだけ問題になったわけですから、ただこれ3副市長が寄って議論した一番大きな理由は、全ての常任委員会に影響するから、これの3副市長が集まって話をされて、この結論を出したわけですよ。

というのは議会全体に関わる私は問題だろうというふうに思いますから、経水のみならず、きちんと議員等に報告をし、常任委員長会長等に報告をし、全て理解を得てからやっていたかないと、3副室長で集まって結論を出したものが何もないというふうに思いますから、ぜひそのご配慮をお願いしたいと思います。

委員長：横井委員のおっしゃる通り、全庁的な、服部委員も指摘されたように、全庁的な資料提出の考え方ということで述べられてたことをね、しっかりと重く受け止めて、各議会全体に及ぶ影響でございますので、そこのところも含めて、経水のみならず対応をしてから、この委員会の再開ということにしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

ではご異議なしと認め、左様取り扱いさせていただきます。

以上で本件を終了し、本日の予定は以上であります。

これにて本委員会を散会いたします。